

JAこうか露地野菜部会（滋賀県甲賀市・湖南市）

R6補正
R7当初

40

背景・課題

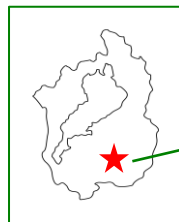
当地では、露地野菜のための土づくりにおいて、土壌硬化、乾湿害、地力窒素の低下等に起因した生育不良と低収量が課題となっている。そこで、当事業において水田野菜における土づくりの改善のための緑肥作物の活用、緑肥の腐熟を促進するバイオスティミュラント（BS資材）の活用の検証、省力化技術として乗用型管理機の活用を検証した。

成果目標

- 緑肥の活用による化学肥料使用量の低減
- 乗用型管理機による白ネギ土寄せ作業の軽労化

主な取組内容

- タマネギ定植1か月前に緑肥クロタラリアとソルゴーのすき込みを比較したところ、緑肥無しとの対照区と比較して緑肥区で球重が大きく、クロタラリアでその差が大きくなった。
- 白ネギ定植前に緑肥ヘアリーベッチのすき込みとBS資材の散布を行った。また、乗用型管理機を活用し、土寄せ・施肥を同時に行うことで省力化できた。
- ソルゴーの播種では、ドローンの利用により省力化を図ることができた。



甲賀市・湖南市

構 成 員

JAこうか露地野菜部会、JAこうか、滋賀県甲賀農業普及指導センター

品 目

タマネギ、白ネギ



すき込み直前のクロタラリア

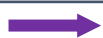


緑肥の有無によるタマネギ収量
注）施肥、一般管理は地域慣行に準じた



乗用型管理機による省力化
（白ネギ土寄せ・施肥同時作業）

検討中の作型



緑肥作付期間



すき込み・腐熟期間



栽培期間

時期（月） 作付品目	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月
クロタラリア・ソルゴー跡作 タマネギ												
ヘアリーベッチ跡作 白ネギ												

普及に向けた取組

当地作型に合った緑肥として、タマネギ前作のクロタラリア・ソルゴー、白ネギ前作のヘアリーベッチは適切と考えられた。乗用型管理機による省力化も実証できた。今後は、緑肥およびBS資材の施用による土づくり効果や減化学肥料について検討を進める。

問い合わせ先

滋賀県甲賀農業農村振興事務所農産普及課 TEL 0748-63-6128